まちの話題 FOCUS

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課（☎ 227－6056）

金色に輝くツバキ油がじわり

つばきに学び、あそぶ

12 月 12 日㈰、にぎわいの里ののいち カミーノで市民活動登録団体 e- やんによるツバキの搾油体験があり、８月に中央公園で種の収穫体験を行った親子 10 組が参加しました。

袋に入ったツバキの種を金づちで叩き、硬い殻を粉々に。油搾り機で圧縮させていくと、油がじわりと染み出る仕組みです。子どもたちは顔を赤くしながら、一生懸命レバーを回してツバキ油を採取しました。野々市小学校５年生の清水勇翔さんは「力が必要なのに少しの量しかとれなかった。お母さんが使っているのを見たことがあったけど、ツバキ油がこんなに貴重なものだと知らなかった」と驚いていました。e- やん代表の安宅三枝さんは、「体験することで、楽しくツバキについて知ってもらえた。これからもツバキの魅力を伝えていきたい」と笑顔で話してくれました。

①親子で力を合わせて回します②種を力いっぱい叩く！③みんなで 250 g の種を搾ってやっと小瓶１つ分の量④ツバキ油でハンドマッサージ

げにげに、うれしきことにて候う

能楽劇「野々市富樫物語」

木戸玲子先生の脚本で、市長が登場する場面が設けられました。

石川県立能楽堂で 11 月 14 日㈰、野々市能楽愛好会が市制施行 10 周年を記念し、末長い野々市の繁栄への願いを込めた能楽大会を開催しました。演じられたのは野々市市とゆかりの深い能「安宅」など、富樫氏にまつわる能の数々。物語は当代の富樫氏が、市長を館に迎えて能楽でもてなそうと思案するところから始まります。「源氏と平家」、「安宅の関」と場面が展開され、千秋楽は祝言曲「鶴亀」。観能した約 180 人は、先人の熱い思いと伝統文化の薫りを存分に堪能していました。

情報リテラシーを身に付ける

図書館を使った調べる学習コンクール表彰式

図書館を使った調べる学習コンクールとは、自分で決めたテーマについて図書館や取材・実験などで調べ、その成果を冊子にまとめて応募するものです。９回目となった今年の作品数は、小中学校合わせて 1,113 点に上りました。11 月 14 日㈰には学びの杜ののいちカレードで表彰式を開催。審査委員長を務めた富陽小学校の中野校長は「身に付けた力を生かして、これからも探究的な学習を続けてください」と子どもたちへエールを贈りました。

市教育長から受賞者17人へ表彰状と盾が授与されました。

１月８日㈯、９日㈰にも市民体育館で公式戦を開催します！

スポーツは“みる”のも楽しい！！

初開催　金沢武士団ホームゲーム

市制施行 10 周年を記念し、11 月 20 日㈯・21 日㈰、市民体育館で初めてプロバスケットボールチーム「金沢武士団」の公式戦が開催されました。普段は市民の運動場所として使用されている市民体育館がプロバスケットボールの試合会場に姿を変えた今回の試合では、２日間ともに、350 人を超える人が観戦に訪れました。選手の奮闘及ばず岐阜に２連敗を喫した金沢武士団でしたが、選手の好プレーが飛び出すと会場は大いに沸き、観客は迫力ある試合を楽しんでいました。

尊敬と感謝を込めて

布水中生徒会が地域のお年寄りへ花鉢を配布

布水中学校生徒会は市社会福祉協議会と協力し、校区に住む一人暮らしのお年寄りへの鉢植え配布を一昨年から継続して行っています。11 月 19 日㈮、ボランティア生徒約 330 人がグループ毎にお年寄りの家を訪問し、鉢植えとメッセージカードを贈りました。鉢植えは、布水中学校 PTA の花育成活動と連携し、生徒たちが事前に準備したもの。生徒は緊張しながらも元気に「風邪を引かないように気をつけてください」と声かけしながら花とメッセージを渡していました。

民生委員と共に訪問し、寒さに強いビオラなどを贈りました。

ゲストの伊藤君子氏とMoonligt JAZZ Orchestra

野々市にトップ・ミュージシャンが集結！

27th BIG APPLE in NONOICHI 2021

野々市が誇るジャズの一大イベント、BIG APPLE in NONOICHI が 11 月 21 日㈰に文化会館フォルテで開催されました。Junior Mance 氏、Frank Foster 氏、秋吉敏子氏…といった過去に出演した巨匠に捧げるトリビュートが今回のテーマ。かつてフォルテのステージに立ったジャズジャイアンツたちの名曲を、Daivid Bryant 氏や中村健吾氏など国内から集まった豪華ゲストが披露しました。会場内では、市制 10 周年を記念して歴代ポスターや出演者サインなども展示されました。

人生の岐路に立つとき

令和３年度野々市市立志式

文化会館フォルテで 11 月 30 日㈫、14 歳の少年少女が自ら志を立て、次代を担う自覚と希望を持つ機会として立志式を開催しました。参加した中学２年生に対し粟市長は、米大リーグで活躍する大谷翔平選手を引き合いに出して「目標達成の努力に加え、人間性を高めることを忘れないで」と式辞を述べました。午後の部では、布水中学校の酒井詩音さんが「夢や目標を成す努力を積んで、ほかの誰かに希望や夢、幸せを届けられる人になりたい」と力強く誓いました。

布水中の酒井さん。午前は野々市中の小此内結さんが誓いました。